

学習スタンダード

9のきまり

① 前の授業の学習用具をしまってから休み時間にする。
まえ じゅぎょう がくしゅうようぐ やす じかん

② チャイムは自分の席で聞く。
じぶん せき き

③ 発言するときは静かに手を挙げる。
はつげん しず て あ

④ 指名されたら返事をして立って話す。
しめい へんじ た はな

⑤ その場に応じた声の大きさを話す。
ば おう こえ おお はな

⑥ 先生や友達の方を見て、話を最後まで静かに聞く。
せんせい ともだち ほう み はなし さいご しず き

⑦ 筆箱の中は、えんぴつ、消しゴム（白）、赤えんぴつ、青えんぴ
ふでばこ なか け しろ あか あお

つ、

定規、名前ペンを入れる。
じょうぎ なまえ い

⑧ えんぴつは毎日けずってくる。
まいにち

がくしゅうスタンダード

① まえの　じゅぎょうの　がくしゅうようぐを　しまつてから

やすみじかに　する。

② チャイムは　じぶんの　せきで　きく。

③ はつげんするときは　しずかに　てを　あげる。

④ しめいされたら　へんじをして　たつて　はなす。

⑤ そのばに　おうじた　こえの　おおきさで　はなす。

⑥ せんせいや　ともだちのほうを　みて、はなしを　さいご

まで

しずかに　きく。

⑦ ふではこの　なかは、えんぴつ、けしゴム（しろ）、あかえ

んぴつ、

家庭学習のすすめ

どの子も「分かるようになりたい」「できるようになりたい」と思っています。できることが増えて自信がつくと、「もっとがんばろう！」「次もできるようになれる！」と意欲が上がります。

反対に、できないことが多くなると、「どうせ自分なんか…」と思い込み、あきらめ、努力することがめんどろくなってしまう。

できるようになるためには、学校の授業でしっかりと学ぶとともに、家庭で繰り返し復習をして覚える・練習することが必要です。家庭学習が、「朝の洗顔」や「歯磨き」と同様に身に付いていると、中学校進学後も「自ら学び、自分の力を伸ばしていく原動力」となっていきます。

家庭学習を習慣化していくために

- 1 決まった時刻に、決まった場所で、毎日のめやすの時間（10分×学年）を決めて学習する。

（習い事の状況によっては、曜日ごとに学習時間を決めて、分かるように書いておく。）

- 2 静かな場所で、姿勢を良くして、テレビを消して集中して取り組む。

（お家の人がいる近くで、時々見てもらいながら学習した方が集中できる子が多いです。）

- 3 まずは宿題に取り組み、その後、「学年別家庭学習の手引き」等を参考に自主学習をする。

（曜日ごとに学習する内容を決めておくと、すぐに取り掛かれます。）

<例> 学習メニュー案

【国語】

- ・ その日に学校で習った漢字を練習する。また、その漢字を使った短文作りをする。

- ・ それぞれの学年ですでに習った漢字を家庭用漢字ノートに練習する。
- ・ 詩やことわざ、慣用句、故事成語の本を読むなど、語彙を増やす学習をする。
- ・ 教科書や自分の好きな本、新聞の記事をノートに書き写す。
- ・ 読書をする。

【算数】

- ・ 教科書の問題のほか、くり返し計算ドリルやパソコンを使った AI 型学習ドリル「Qubena（キュビナ）」の 5 分間復習モードなどに取り組む。
- ・ 九九の確認や百マス計算、計算パズル系など、反復練習や頭を使って考える問題演習に取り組む。

【各教科】

- ・ テストやプリントの間違った問題をもう一度やり直す。
- ・ 小学生向けの新聞を読む。

4 ひとつの学習が終わったら、見直し・答え合わせ・間違い直しをする。

できるだけ毎日学習したことを見てあげてください。学習内容に興味をもち、授業の様子やお家の人が学校で習ったことなど、お子さんと会話ができるといいですね。

か て い が く し ゅ う 家庭学習のてびき

〇くご

- ・おんどく（くごのきょうかしよのぶんしょうを てんや まるにきをつけて よもう。）
- ・もじのれんしゅう（ひらがな、かたかな、かんじをれんしゅうしよう。）
- ・どくしょ（やすみのひは、ほんをたくさんよもう。）
- ・文しょうのかきうつし（ていねいにたたくうつしてみよう。）

〇さんすう

- ・けいさんれんしゅう（まちがえないように、たしかめてみよう。）
- ・いろいろなもののかずを たくさんかぞえてみよう。

〇せいかつか

- ・おてつだい（すすんで おてつだいを してみよう。）
- ・はなや くさ、どうぶつや むしなどの いきものがいたら、よくみてみよう。

〇ずこう

- ・えをかく。こうさくをする。（はさみ、のりのつかいかたを れんしゅうしてみよう。）

*ひとり1だいたんまつ AIがたがくしゅうドリル「キュービナ」をつかって、これまでならなかったことをふくしゅうしよう。

【かていがくしゅうのやくそく】

- ・ まいにち10ぶん、おうちでがくしゅうしましょう。
- ・ できるかぎりきまったじかんにがくしゅうしましょう。
- ・ しゅうちゅうして、がくしゅうしましょう。
（テレビをみたり、おかしをたべたりしながら がくしゅうしない。）
- ・ ただしいしせいで、きちんとつくえに、むかひましょう。
- ・ 家庭学習がおわったら、おうちの人にみてもらいましょう。
- ・ しゅくだいを ていねいにじっくりしあげることがきほんです。

しゅくだい
をていねい
にじっくり
しあげまし
ょう。



か て い が く し ゅ う 家庭学習のてびき

○国語

- ・音読（国語のきょうかしよにある「し」「ものがたり」「せつめい文」を、まとまりに気をつけて、正しく読んだりおぼえたりしてみよう。）
- ・かん字れんしゅう（テストでまちがえた字は、しっかりとれんしゅうしよう。）
- ・ことばあつめ（なかまのことば・はんたいことばなどあつめてみよう。）
- ・しりとり（ノートにかいて、カタカナもたくさんつかってしりとりしよう。）
- ・日きやしをかいてみよう（まい日、すこしずつづけてかいてみよう。）
- ・文しょうのかきうつし（ていねいに正しくうつしてみよう。）
- ・読書（休みの日は本をたくさん読みましょう。）

○算数

- ・その日にしゅうしたきょうかしよやノートのないようをもう一ど、やり直そう。
- ・けいさん（ドリルをくりかえしてやろう・まちがい直し・もんだいづくり）

【家庭学習のやくそく】

- ・毎日20分、おうちでしゅうしよう。
- ・できるかぎりきまった時間にしゅうしよう。
- ・しゅう中して、しゅうしよう。
- （テレビを見たり、おかしを食べたりしながらしゅうしない。）
- ・正しいしせい、きちんとつくえに向かいましょう。
- ・家庭しゅうがおわったら、お家の人に見てもらいましょう。
- ・しゅくだいをていねいにじっくり仕上げるのがきほんです。

しゅくだいを
しゅう中して、
しあげましょう。
そのあとで、
「家庭しゅうの手
引き」をさんこう
に、自分でしゅう
しましょう。



3 年生

よく見るところにはって、しゅくだいの後の 家てい学習のさん考にしましょう。

東大和市立第六小学校

か て い が く し ゅ う 家庭学習のてびき

○国語

- ・日記、詩、作文、読書かんそう文を書いてみよう。
- ・学習したかん字のれん習やくりかえしれん習しておぼえよう。ローマ字のれん習をしよう。
- ・いみしらべをしよう。（国語じてんのつかい方をならったら。）
- ・ことばあつめ（なかまのことば、はんたいことば、外来語、ことわざ など）
- ・読書に取り組もう。（休みの日は、本をたくさん読みましょう。）
- ・音読をしよう。（国語の教科書、漢字ドリルの文章を読む。）

○算数

- ・その日に学習した教科書やノート、テストの内ようをもう一度、とき直そう。
- ・計算れん習をしよう。（ドリル・文章問だいをくりかえし・まちがい直し・問だい作り）
- ・かけ算九九をとえよう。（ぎゃくかけ算九九など）
- ・三角形や四角形、円（コンパスの学習の後）など、きれいな図形を見つけたら、じょうぎやコンパスを使って、まねして書いてみよう。

○社会

- ・学習した内容を振り返った上でテストを受け、テスト後は直しをしよう。
- ・うちのひと、東大和市の公園や施設、お店を訪ねて東大和市について知ろう。
- ・新聞を読んだり、地図記号を覚えたりしよう。

○理科

- ・学習した内容を振り返った上でテストを受け、テスト後は直しをしよう。
- ・自然や科学の本を読んだり、植物やこん虫等、季節の自然をかんさつしたりしよう。

***宿題の直しは、すぐに取り組もう。**

***一人一台端末の AI 型学習ドリル「キュービナ」を使って、これまで習ったことを復習しよう。**

【家てい学習のやくそく】

- ・ **毎日30分**、お家で学習しましょう。
- ・ できるかぎり決まった時間に学習しましょう。
- ・ しゅう中して学習しましょう。
（テレビを見たり、おかしを食べたりしながら学習しない。）
- ・ 正しいしせいで、きちんとつくえにむかいましょう。
- ・ 家てい学習が終わったら、お家の人に見てもらいましょう。

宿題が終った
ら、「家てい学習
の手引き」をさ
んこうにして、
しゅう中して、
学習しましょ
う。



※「東大和市学習の手引き」(令和元年 東大和市教育委員会指導室)を参考に作成しました。

よく見るところにはって、しゅくだいの後の 家でい学習のさん考にしましょう。

4 年生

東大和市立第六小学校

家庭学習の手引き

○国語

- ・いま学習している物語教材の教科書の音読をする。
- ・意味調べ。調べた言葉で短文づくり。故事成語・ことわざ・慣用句をノートに書く。
- ・漢字練習（ドリルなぞり・熟語・短文作り）
- ・日記、詩、作文（初め・中・終わりを考えて）、読書感想文、俳句や川柳作り
- ・読書（休みの日は本をたくさん読みましょう。）
- ・ローマ字 名前やかんたんな言葉
- ・都道府県の漢字を練習して覚える。

○算数

- ・当日に学習した教科書やノート、プリントの内容をもう一度やり直す。
- ・計算（ドリル・文章題をくりかえし・まちがい直し・問題づくり）
- ・見つけた図形の角の大きさを分度器ではかる。三角形・いろいろな四角形の作図。

○社会

- ・新聞を読む。テレビのニュースをみる。（「今日のニュースノート作り」もおすすめ。）
- ・市区町村や都道府県を覚える。地図帳で地域の特ちょうを調べる。
- ・家の人と東京都をたんけん。通っている道路や電車にきょうみをもとう。
- ・テストの直し。
- ・自主学習ノートを作り、世界の国々の特ちょうなど、まとめて書く。

○理科

- ・自然や科学の本を読む。植物やこん虫等、季節の自然かんさつ。星や月のかんさつ。
- ・自主学習ノートを作り、自然や科学のふしぎなど、まとめて書く。
- ・テストの直し。

* じゅぎょうでとったノートを見直そう。きれいにノートをまとめよう。

* 一人一台端末の AI 型学習ドリル「キュビナ」を使って、これまで習ったことを復習しよう。

【家庭学習の約束】

- ・ 毎日 40 分、家で学習しましょう。
- ・ できるかぎり、決まった時間に学習しましょう。
- ・ 集中して学習しましょう。
（テレビを見たり、おかしを食べたりしながら学習しない。）
- ・ 正しいしせいで、きちんとつくえに向かいましょう。
- ・ 家庭学習が終わったら、家の人に見てもらいましょう。

宿題を集中して取り組みましょう。「家庭学習の手引き」をさん考に、すすんで学習しましょう。



※「東大和市学習の手引き」(令和元年 東大和市教育委員会指導室)を参考に作成しました。

家庭学習の手引き

○国語

- ・音読（国語や社会の教科書）
- ・漢字小テストの練習をくり返す。（ドリルなどで、くり返し練習をする。）
- ・日記、作文、詩、読書感想文などを書く。俳句や短歌を詠む。
- ・ことわざ、慣用句（かんようく）、四字熟語などを調べる。
- ・テストの直し、今までのテストの見直しをもう一度する。
- ・新聞を読む。
- ・読書（休みの日は本をたくさん読みましょう。）

○算数

- ・当日に学習した教科書やノート、プリントの内容をもう一度やり直す。
- ・計算ドリルをもう一度やり直す。
- ・テスト直し、今までのテストの見直しをする。

○社会

- ・教科書や資料集を読む。学習したノートやプリントをもう一度読む。
- ・世界の大陸名や海洋名を覚える。地図帳や地球儀の緯線や経線を活用して位置をとらえる。
- ・日本の地理、産業、農業、工業についての新聞や教育テレビを見る。
- ・テスト直し、今までのテストの見直しをする。

○理科

- ・教科書を読んだり、学習ノートを読み返したりして、まとめをする。
- ・なぜだろう？と思ったことを調べて、自由研究としてまとめる。
- ・テスト直し、今までのテストの見直しをする。

○外国語

- ・世界のいろいろなあいさつを調べる。
- ・アルファベットの大文字と小文字を 大きさや位置、線の長さに気を付けて書く。

* 自分の目標と期日を決め、自分にあった自主学習に取り組もう。

* 一人一台端末の AI 型学習ドリル「キュービナ」を使って、これまで習ったことを復習しよう。

【家庭学習の約束】

- ・毎日 50 分、お家で学習しましょう。
- ・できるかぎり決まった時間に学習しましょう。
- ・集中して学習しましょう。
（テレビを見たり、おかしを食べたりしながら学習しない。）
- ・正しい姿勢で、きちんとつくえに向かいましょう。
- ・家庭学習が終わったら、お家の人に見てもらいましょう。

「家庭学習の手引き」を参考に、自分で計画を立てて学習しましょう。



6 年生

よく見る場所にはって、宿題の後の 家庭学習の参考にしましょう。

東大和市立第六小学校

家庭学習の手引き

○国語

- ・漢字小テストの勉強。（宿題で間違えた所はその日のうちに3回ずつ練習する。）
- ・日記、作文、詩、読書感想文等を書く。
- ・ことわざ、四字熟語、慣用句、漢字調べ等。
- ・テストの直し、過去のテストをもう一度解く。
- ・新聞を読む。
- ・読書（休みの日は本をたくさん読みましょう。）
- ・音読（国語や社会の教科書）

○算数

- ・その日に学習した教科書やプリントの問題をもう一度やり直す。
- ・計算ドリルをもう一度やり直す。
- ・テストの直し、今までのテストの見直しをする。

○社会

- ・教科書、資料集、歴史の本などを読む。
- ・歴史の人物や出来事を覚える。
- ・歴史に関する番組を観る。（大事な所はノートにメモする。）

○理科

- ・教科書を読んだり、学習ノートを読み返したりして、まとめをする。
- ・なぜだろう？と思ったことを調べて、自由研究としてまとめる。

○外国語

- ・簡単な英語の単語や文を、お手本を見ながら正しく書く。
- ・学校で学習した表現や言葉を、声に出して言う。

＊自分のために、自分の目標を決め、自分にあった自主学習に取り組もう。

＊一人一台端末のAI型学習ドリル「キュービナ」を使って、これまで習ったことを復習しよう。

【家庭学習の約束】

- ・毎日60分、家で学習しましょう。
- ・できるかぎり決まった時間に学習しましょう。
- ・集中して学習しましょう。
（テレビを見たり、お菓子を食べたりしながら学習しない。）
- ・正しい姿勢で、きちんと机に向かいましょう。
- ・家庭学習が終わったら、お家の人に見てもらいましょう。

「家庭学習
の手引き」を
参考にして、
自分で計画を
立てて、学習
しましょう。

